

伐倒時のけん引図に重大な誤り発見

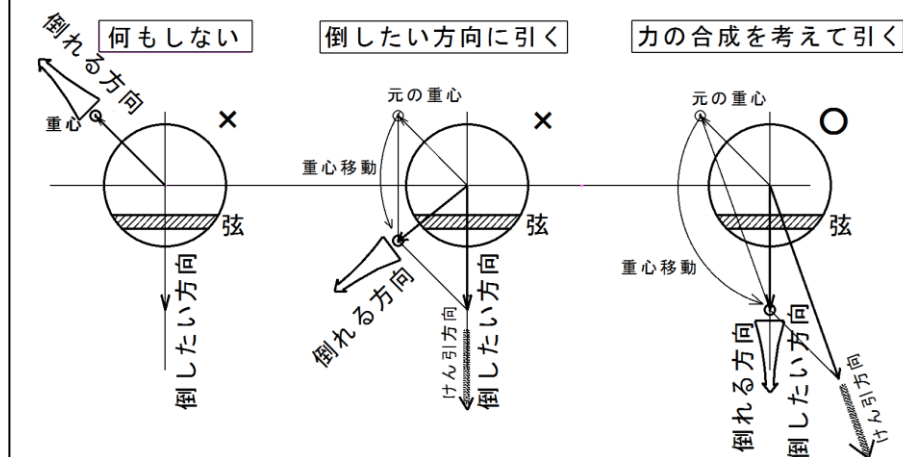
樹間の狭い場所での間伐をスムーズに行うため、伐倒方向誘導をロープけん引で行います。正しいけん引方向を示すため重心とけん引力のベクトル図を作成しました。しかしこの図には重大な落とし穴がありました。何かしっくり来なかったのは重心移動の速度を考慮していなかったことです。

けん引に従って重心が移動し、倒れかかる場合、重心は速度を持ちます。この速度に見合う速さで牽引を続けなければ手前の位置に倒れてしまいます。けん引具は押しなべてストロークで引きますからとても間に合いません。



プラロック（手前にセット）を使用したヒノキの定性間伐

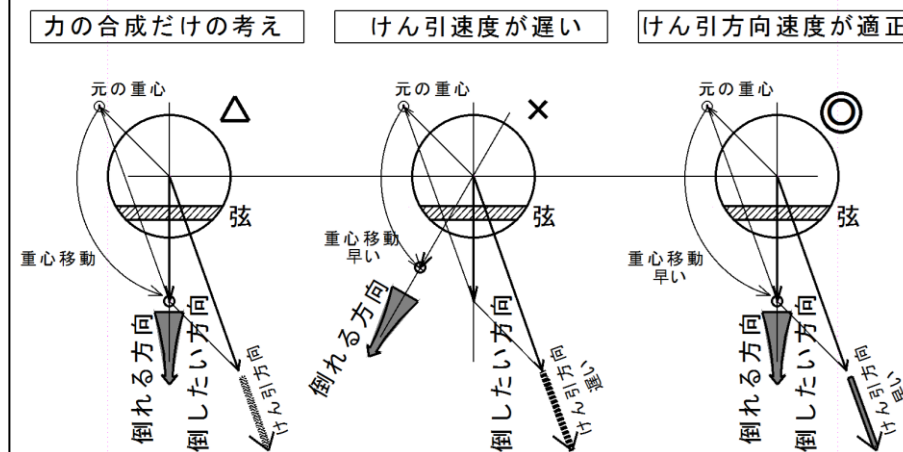
重心方向と伐倒方向が合わない



速度の概念が抜けている以前の合成ベクトル↑

改訂

重心方向と伐倒方向が合わない



速度の概念を加味した改定のけん引ベクトル図

（牽引速度が速すぎた場合は、けん引方向に倒れるので注意が必要）

限りなき技術の追求が求められる！